

はじめに

『法人ビジョンと2024年度介護報酬改定』

当法人は基本理念である『質の高いサービス（Superior KAIGO）の提供』に向け、自立支援介護を軸に様々な取り組みを積み重ねてきました。その先に目指す未来像として、Smart・Stylish・Specialistの3つの“S”をキーワードに、『介護の仕事を魅力的に！』というビジョンを掲げ、2020年からの中期計画『kuroshioen vision 2025』を策定しています。前年度は「Smart」効率的な業務体制の構築に向け、黒潮園では業務オペレーションプロジェクトを立ち上げ、各勤務者のタイムテーブルを示すオペレーションシートを作成し業務改善に取り組んでいます。またクレール高森では5S委員会を継続し、「ムリ・ムダ・ムラ」の解消と業務効率化を進めています。最新のテクノロジーの活用による「Stylish」な介護へのイノベーションでは、インカム、タブレットの活用、そして夜間の見守り機器として睡眠中か覚醒しているかタブレットで随時確認ができるベッドセンサー『眠りスキャン』をクレール高森に続き、黒潮園100床全床に導入しました。今年度は職員の腰痛対策とさらなる業務負担の軽減をキーワードに浴室へのリフト設置ほか「ノーリフトケア」に本格的に取り組めます。引き続き職員の労務負担を軽減しつつ良質な介護を提供できる体制づくりを進めていきます。

一方で今年度、介護事業の方向性を示す医療・介護の同時報酬改定があります。この改定にて注目すべきは介護事業所の生産性向上の体制整備を推進するための委員会の設置や、見守り機器などテクノロジーを導入していることにより算定可能な「生産性向上推進体制加算」が新設されたことです。こうした取り組みを実施している事業所では、離職率低下やご利用者の自立支援といったケアの成果につながっているという事に着目されたものです。この加算の算定要件は先述した『kuroshioen vision 2025』の取り組みそのものが採択されており、あらためて黒潮園の掲げるビジョンと将来への展望に制度が後押しをしてくることを確信する改定内容でした。

また介護の未来を考える上でこの介護保険制度の動向だけでなく、我が国の経済動向を注視する必要があります。現在、日本経済はバブル崩壊後長く続いたデフレを脱却しインフレに向かっておりとされており物価高騰が続いています。一方で実質賃金は下がる一方となっており、人材確保競争が激化する中で大手企業では賃上げへの動きが活発化しています。一方で全国の特養の約6割が赤字というデータもあり、果たして介護事業所がこの経済動向について行けるか、非常に厳しい状況が迫りつつあります。黒潮園ではこれまでも全国トップクラスの可動率実績を誇る高い経営力を基盤に職員処遇の向上に努めてきました。そして令和6年1月給与から物価高騰支援手当の新設など月額2万円の賃上げを実行しています。このような社会情勢を背景に今回の介護報酬改定は実質2.04%のプラス改定となりました。現政府が賃上げによる経済の好循環を方針に掲げている以上、今後も経済動向に合わせてプラス改定が進むと考えられますが、この原資をいかに効果的に現場へ還元できるかが重要と言えます。

私は10年先のKAIGOが楽しみでしかありません。AIや様々なテクノロジーの発達は介護の仕事の労務負担を一層軽減していく事になるでしょう。当法人の強みである「高い経営力」により実現する「働きやすい職場」と「質の高いサービスの提供」が確固たるものになりつつある今、今年度も未来指方向かつ明確なビジョンをしっかりと持ち、より高い給与を実現する「人材への投資」、また最新の機器の導入など「労働環境への投資」を積極的に進めて参ります。

理事長 岡 司

基 本 理 念

温かい家庭的な雰囲気のもと、利用者さま一人一人の尊厳の保持と、その個性や価値観を尊重し、夫々のニーズと状況を十分に把握して、『質の高いサービス』を提供するよう努める。

次の言葉をモットーとする

- 一. 「心と心の通い合い」を大切に…
- 一. 「その人らしさ」に最大限の配慮を…

職員の志

私たちは社会福祉法人黒潮園の職員としての「志」を大切にし、
法人基本理念を実行いたします。

1. 私たちは介護現場に携わる専門職として、プロ意識をもって支援します。

- ・社会福祉従事者としての自覚と誇りを持ち、自己研鑽に励みます。
- ・プロとしての接遇、あいさつ、言葉遣い、表情、身だしなみ、立ち居振る舞いを大切にします。
- ・アセスメントと根拠を大切にした行動に徹します。
- ・全職員は専門職として、チームケアに取り組みます。

2. 私たちは今までこの社会を支えてこられた利用者様の尊厳を大切にします。

- ・礼儀をもって接するとともに、傾聴することを大切にします。
- ・その人らしく暮らすことができる、居心地のいい生活の場を提供します。
- ・その人らしい暮らしに寄り添う支援を大切にします。
- ・ゆとりをもった支援を心がけます。

3. 私たちは介護サービスの質の向上を図ります。

- ・理念に基づく理想の介護を追求します。
- ・既存の考え方に固執せず、新しいことに積極的に取り組みます。
- ・研修会参加や専門的な資格取得に励み、介護サービスの質の向上に努めます。
- ・内部勉強会、委員会を積極的に取り組みます。

4. 私たちは明るく豊かな人間関係とチームワークを大切にします。

- ・いつも笑顔で心がけ、和やかな雰囲気をつくれます。
- ・私たちの笑顔で、利用者様の笑顔を引き出すことを大切にします。
- ・相互協力により信頼し合える仲間（チーム）をつくれます。
- ・定期的な話し合いの場を設け、情報の発信と共有を大切にします。

法人運営方針

1. 法令順守

社会福祉事業の主たる担い手として、適正かつ透明性のある事業経営を行い、永続的な地域福祉の推進に努めるものとする。

2. 地域貢献

社会福祉法人として公共の福祉に貢献できるよう、常に地域の皆様の声を大切にし、そのニーズにお応えできるよう努めるものとする。

3. 人権擁護

利用者様の生活と人権を擁護するため常に誠意を持ち、個々の意思および人格を尊重した個別処遇と自立支援に取り組み、その人らしい暮らしに寄り添う支援に努めるものとする。

4. 総合的な福祉サービスの提供

高齢者の方々が、穏やかに安心して生活できる地域の拠点施設を目指し、多岐にわたる福祉サービスの提供および情報の提供に努めるものとする。

5. 新たな福祉サービスの確立

変化する福祉ニーズにお応えする、先駆的・独創的で特化した福祉サービスの確立に努めるものとする。

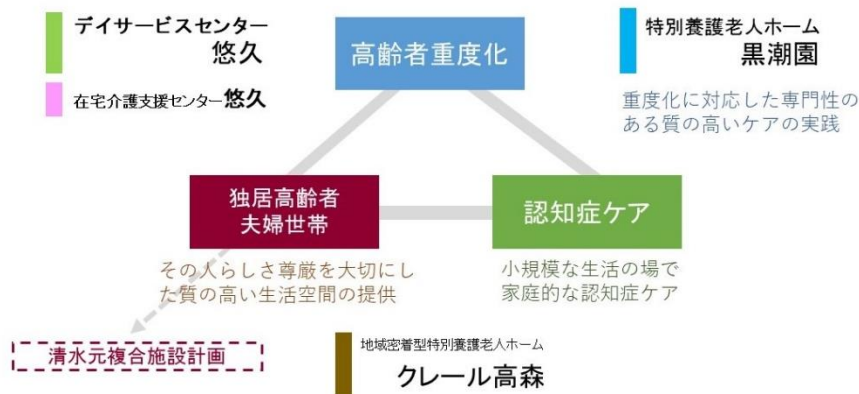
6. 職場環境の整備

職員の資質向上に努めるため、研修や専門的な資格取得を奨励するとともに、常に現場の声に耳を傾け、やりがいをもって働ける職場環境の整備に努めるものとする。

1. 社会福祉法人黒潮園の基本方針

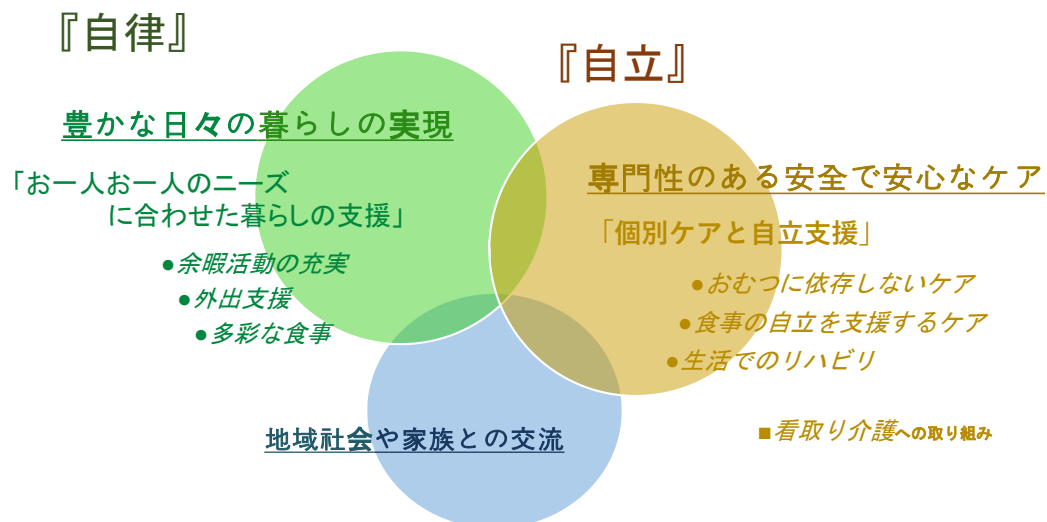
1. 地域を支える福祉システムの構築

今後の高齢者福祉における課題、①高齢者の重度化 ②夫婦世帯・独居高齢者の増加 ③認知症高齢者の増加、それぞれの3つのニーズに適応する施設サービス拠点を整備し、地域の様々なニーズを有する高齢者を包括的・相互的に支援するシステムを構築する。



- ・従来型特養黒潮園は、重度要介護者に対応する施設と位置付け専門性に特化したケアに取り組み、地域密着型特養クレール高森は、今後増加が見込まれる認知症高齢者や独居高齢者といった中等度の要介護者が、その人らしさと尊厳のある暮らしを継続できるように個室ユニットケアに取り組み相互連携を図る。
- ・デイサービスセンター悠久、在宅介護支援センター悠久では、住み慣れた地域で安心して暮らしが継続できるように在宅支援に取り組む。
- ・所有する土地（清水元）の有効活用について、介護保険制度の動向、地域ニーズに基づき、新たなサービスの創出を検討する。

2. 理念にある質の高いサービスの提供



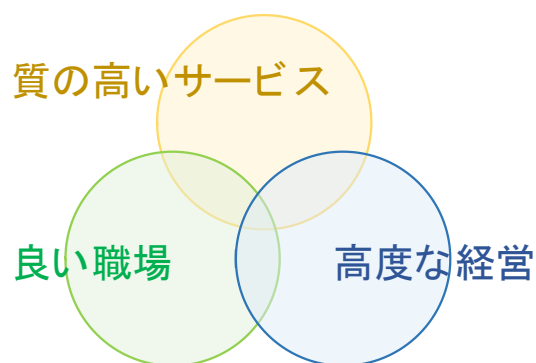
施設に入居しても豊かな日々の暮らしを実現する「自律」と、専門性に特化した個別ケアと自立支援介護を実践する「自立」、この2つのカテゴリーをより高い次元で実現するケアに取り組みます。



3. 働きやすい職場の実現

私たちは、「より良い職場」があって初めて「より良い人材」が集まり、そして「より良質なケア」につながるものと考え、『心と心の通いあいを大切に・・・』という基本理念モットーに基づき、お一人お一人のご利用者さま、一人一人の職員、『人』を大切にする法人を目指します。

- ・施設稼働率99%以上ほか「高度な経営」により実現する「良い職場」と「質の高いサービス」
- ・収益性向上による職員処遇向上への取り組み
- ・多職種同一処遇による『全員正職員雇用制度』
- ・有給休暇取得推進と・連休取得への取り組み
- ・内部研修の充実ほか外部研修の出張支援制度によるキャリアアップ支援
- ・住宅ローン補助手当ほかライフステージに応じた福利厚生の実施
- ・物価高騰支援手当による経済動向に合わせた暮らしの支援



II. KUROSHIOEN vision 2025

介護の仕事を魅力的に！
KUROSHIOEN vision 2025

Smart 業務の効率化
Stylish ICTの活用
Specialist 個別ケアと自立支援

質の高いサービス

Superior KAIGO

『介護の仕事を魅力的に！』

介護の仕事のイメージを変える価値の創出

築き上げてきた『質の高いサービス』（Superior KAIGO）の未来への持続と発展に向け、ケアシステムへの最新のテクノロジーの活用と業務効率化（Smart・Stylish）により、誰もが働きやすく、専門職（Specialist）として成長できる環境へイノベーションを図ります。また次世代の人材確保に向けたイメージ向上と魅力創出を目指します。

1975～

- ・経験則による一律ケア
- ・充実しない労働環境（低賃金・休みが取りにくい）

2020～ 2nd innovation

- ・眠リスクャン・インカム・iPadの導入
- ・情報共有ツール（アプリ）の開発
- ・ノーリフトケアの導入

2025～未来の新たなKAIGO

- ・最新のテクノロジーの活用
- ・専門職としての給与水準

介護の仕事＝しんどい仕事

職員満足＝利用者満足

業務の効率化・職員負担の軽減

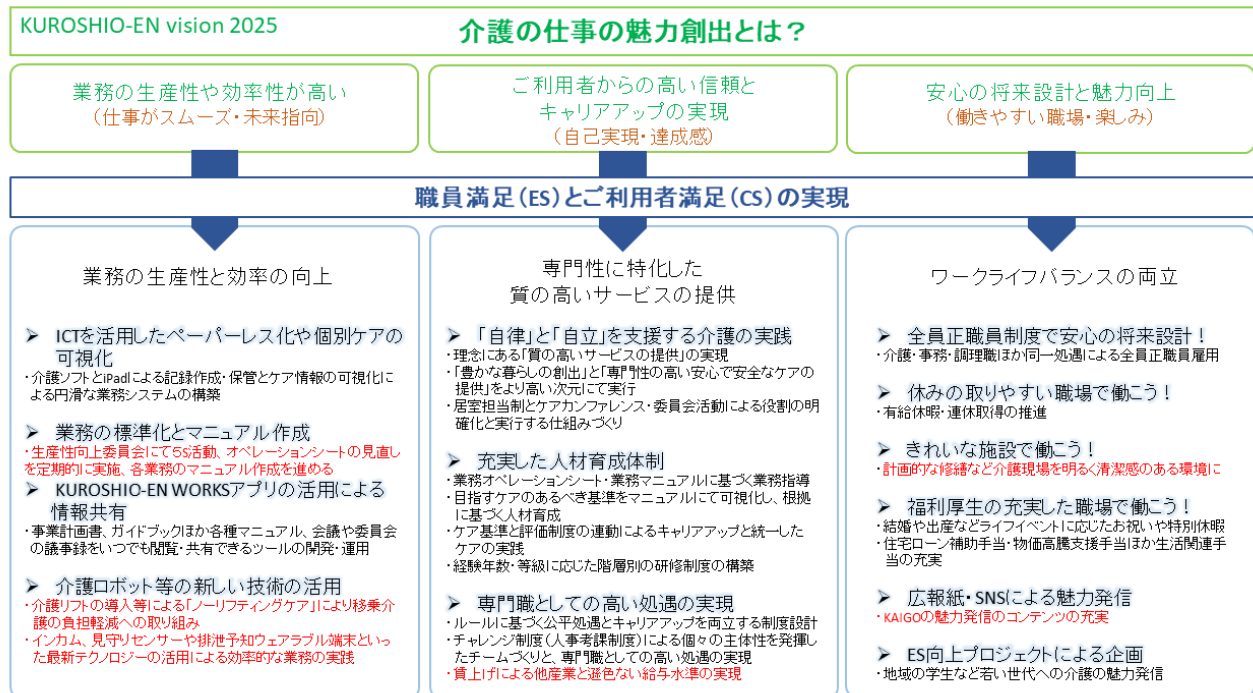
2010～ 1st innovation

- ・働きやすい職場づくり
- ・専門性に特化したケア
- ・多職種協働のチームケア

自立支援介護 → 最新のテクノロジーの活用

質の高いサービスの提供

効率的かつ持続的なサービス提供



赤字は 2024 年度重点実施項目

Ⅲ. 令和6年度法人重点実施項目

1. アクションプラン2024

『KUROSHIOEN vision 2025』に掲げる「介護の仕事の魅力創出」に向けた各テーマに対し、以下を2024年度実施項目とし取り組む。

テーマ1. 業務の生産性や効率性が高い

仕事がスムーズ・未来指向

- ・ 移乗介助ロボット『Hug』の追加導入とリフトの新規導入による「ノーリフトケア」の推進
- ・ クレール高森5S委員会、黒潮園オペレーションプロジェクトを生産性向上委員会に改め業務内容を可視化したオペレーションシートの作成と「ムリ・ムダ・ムラ」の改善による業務効率化に継続的に取り組む（生産性向上推進体制加算の取得）
- ・ 業務内容の標準化とマニュアルの作成
- ・ ベッドセンサーによる見守り機器『眠りスキャン』の黒潮園全室導入による業務改善

テーマ2. ご利用者からの高い信頼とキャリアアップ

自己実現・達成感

- ・ 接遇力、専門知識の向上に向けた研修の実施ほか、専門職としての資質向上への取り組み
- ・ 施設内WEB研修の充実と自主的な受講に対するポイント制度の導入
- ・ 施設外研修出張支援の再開

テーマ3. 安心の将来設計と魅力ある職場

働きやすい職場・楽しみ

- ・ 職員アパートの入居募集開始
- ・ 互助会企画の職員旅行への法人支援
- ・ 休暇取得希望アンケートによる個々のライフスタイルに合わせた勤務表作成への取り組み
- ・ 有給休暇取得率80%の達成

2. 高い収益性を基盤とした職員処遇向上への取り組みと経営基盤強化

- ・ 物価高騰等の社会情勢の変化に対する賃金引き上げへの取り組み
- ・ 介護リフトの導入ほか職場環境への積極的な投資（現場物品購入要望の予算反映）
- ・ より精度の高い年度法人予算の立案と確実な執行に取り組み、本部会議による月次経営分析と検討、運営会議にて業績の報告を行い、適正な利益の確保と職員処遇向上の両立を実現する
- ・ 業績達成による3月賞与（業績一時金）支給への取り組み
- ・ 目標稼働率による収入管理（予算）

	目標稼働率	平均介護度
黒潮園	入所	97.5%
	ショート	130.0%
	合算	100.0%
クレール高森	入所	98.7%
	ショート	100.0%
	合算	99.0%
デイサービス悠久	87.0%	2.5

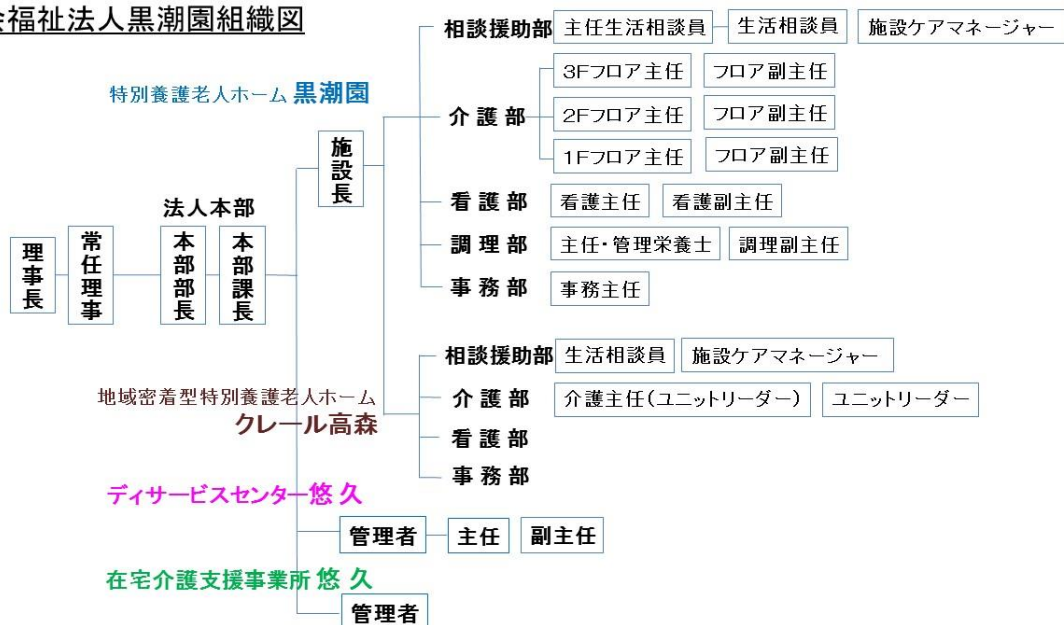
	中期財務計画（大規模修繕ほか）
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・黒潮園浄化槽工事 ・浴室リフト設置工事 ・介護記録ソフトライセンス更新 ・勤怠管理ソフト入れ替え
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・デイサービス悠久 全面リフォーム工事 ・ニュークックチル導入
令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> ・職員棟（ロッカー・休憩ラウンジ）の建設 ・駐車場整備工事
将来計画	<ul style="list-style-type: none"> ・黒潮園C棟屋上テラス化計画 ・黒潮園1フロア2ユニット化計画 ・地下倉庫リフォーム工事

3. 地域貢献に向けた取り組み

- ・ 県立新翔高校『初任者研修』講師派遣
- ・ 新宮市在宅医療・介護連携推進会議に施設・デイサービスともに参加し、多職種、他事業所連携による地域包括ケアの推進に取り組む
- ・ 新宮市高齢者緊急一時保護事業への協力
- ・ 空きベッドの活用により、急な利用要望に対するショートステイの受け入れ対応（平成27年度介護報酬改定 緊急時における基準緩和と緊急短期入所受入加算を活用）
- ・ 制度の狭間にある社会福祉・生活課題解決への協働プロジェクト（県社協）への参画

IV. 組織図・人員配置

社会福祉法人黒潮園組織図



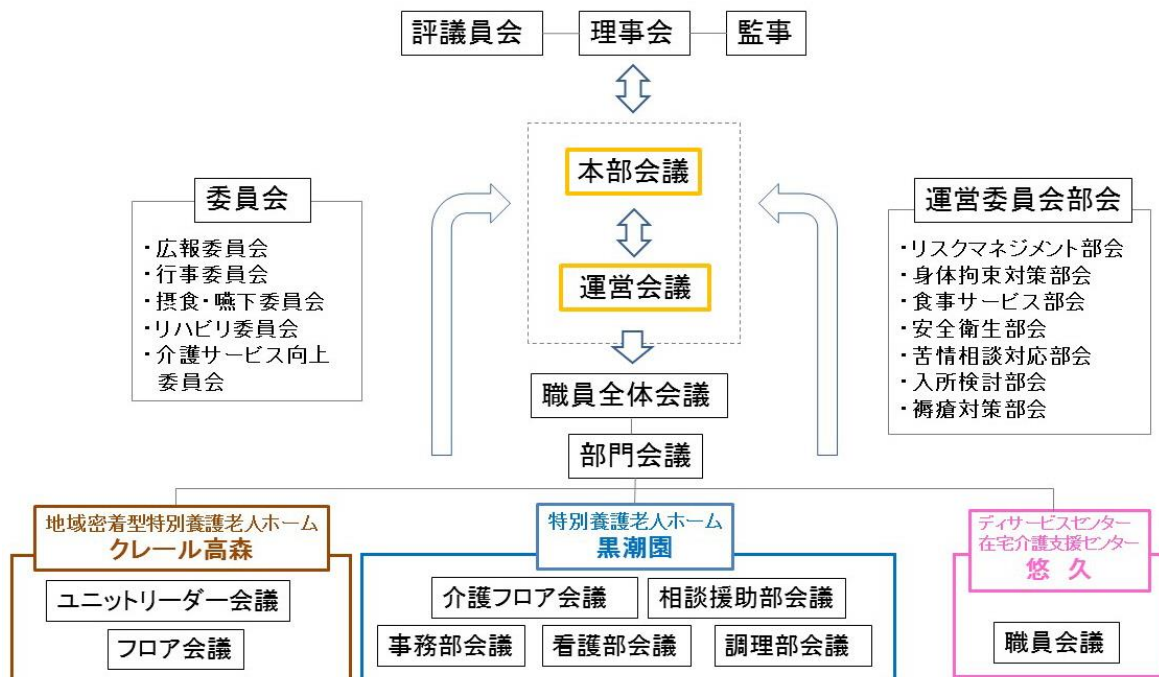
職員数

	法人本部	黒潮園	クレール 高森	デイサービス 悠久	居宅介護 支援	合計
施設長		1	兼務	兼務	兼務	1
部長	1					1
課長	1					1
事務員		4	1	1		6
生活相談員		2	1	兼務		3
介護支援専門員		1	1		1	3
看護職		5 (1)	1	1 (2)		7 (3)
介護職		51 (1)	21 (9)	16 (4)		88 (15)
その他		(8)	(3)	(2)		(13)
管理栄養士		2				2
歯科衛生士		1	兼務			1
調理員		6 (5)				6 (5)
医師		嘱託 (1)	兼務			嘱託 (1)
合計	2	73 (17)	25 (12)	18 (8)	1	119 (37) 計156名

※ () は嘱託 及び パートタイマー

V. 会議・委員会

組織全体を見通した機能的な会議・委員会編成を行い、法人運営を効率的に進めるものとする。



会議	目的・内容	責任者	開催頻度・時期
理事会 評議員会	・法人の運営及び施設経営に関する重要事項を審議決定する最高議決機関	理事長	必要に応じて開催
本部会議	・3事業所の財務管理、人事管理、サービス管理に係る課題を協議し、円滑な法人運営を図る	本部部長	第3金曜日 14:00～
運営会議	・施設運営の日常的・短期的な決済・判断を合議制で行い、円滑かつ適正な組織運営を図る	施設長	第4月曜日 18:15～
職員全体会議	・法人の事業計画・事業報告を行う他、全職員に周知すべき事項があれば開催	施設長	原則年2回 (上・下半期)
部門会議	・フロア運営・部署運営についての協議 ・運営会議の審議内容・結果の報告、又これに対する協議を行う	主任 管理者	原則月1回 第1週目
ケアカンファレンス	・ケアプランの内容について検討を行う ・多職種によりご入所者のケア方針を検討する	施設ケアマネージャー	第2月曜日 14:00～

○本部会議

<目的>

法人本部が中心となり、3事業所におけるサービス管理、財務管理、人事管理に係る課題を総合的に協議し、法人全体の適正運営を図る。

<運営方針>

- (1) 理事長・本部部長・本部課長が、事務主任・介護主任・生活相談員・デイ管理者等の各事業所代表を招集し法人運営の課題の抽出・検討を行う。
- (2) 円滑で健全な法人経営のため、財務分析の実施と予算管理に取り組む。
- (3) 法人運営、サービスの質向上、人材育成に関する方針や規程、ルール作りを行う。
- (4) 各部門会議からの提案を協議し、決定事項を運営会議に落とし周知する。
- (5) 原則、月1回（第3金曜日）の運営会議前に開催する。

○運営委員会（運営会議）

<目的>

現場各部門や法人全般に関わる課題を全体で把握し、法人運営方針の決定を統一されたものとし、円滑かつ適正な組織運営を行う中心機関として設置。

<運営方針>

- (1) 各部署主任・副主任を招集し、月1回（第4火曜日）に運営会議を実施し、各部署間の連携を図る。
- (2) 本部会議の決定事項の伝達と現場への周知を行う。
- (3) 各委員会、部門会議からの提案を協議し決定事項を周知する。
- (4) 各部署役職者（主任・副主任級）を招集し、各分野における施設運営方針の協議・連絡を行う。

部 会 名	担当	活 動 内 容
リスクマネジメント 部会	本部課長	・安全かつ適切で質の高いケアを提供する体制の整備 ・事故報告書、インシデント報告書の集計と対策検討
身体拘束防止部会	生活相談員	・身体拘束のない生活環境の提供に向けた体制整備 ・身体拘束に相当する事例の解除に向けた検討
感染症対策部会	看護副主任	・感染症を予防する体制の整備と職員教育 ・感染症発生時の迅速な対応と拡大防止策の策定
安全・衛生部会	衛生管理者	・施設設備の点検や職員の労働状況の把握・健康管理を行い、安全かつ快適に働ける環境づくりに取り組む
入所検討部会 (入所判定委員会)	生活相談員	・入所申し込み者の情報整理 ・入所待機者の管理と入所者の検討
食事サービス部会	管理栄養士 調理副主任	・行事食の企画から、ご利用者の嗜好・アレルギー対応など食事サービスに関する検討を多職種連携にて行う。
褥瘡対策部会	看護副主任	・褥瘡の予防と改善に向けたチームケアに取り組む ・定期的な入居者の状況をアセスメントする
苦情相談対応部会	本部部長	・ご利用者やご家族の苦情を受付ける体制を整え、権利を擁護し適切なサービスが利用できるよう支援する。

VI. 研修計画 2024

	全体研修	WEB 配信研修	
		全職員（1～6等級）	3等級～6等級
4月	・新人研修 ・職員全体会議 「令和6度事業計画」	・接遇マナー研修 「接遇およびコミュニケーションの基本」	オンライン（Zoom）開催 ・介護リーダー（介護主任）の具体的な役割と責任 講師：齊藤 浩二 ・チームワークの基礎 講師：神 智淳
5月	・パラマウントベット 「眠りスキヤンの活用」		
6月	・基本ケア研修 「認知症の基礎」	・感染症対策① 「食中毒予防と蔓延防止」	
7月	・基本ケア研修 「ユマニチュード」		
8月	・人権研修①	・身体拘束と高齢者虐待① 「拘束や虐待が起こるメカニズム」	
9月	・太陽化学 「腸内環境の改善と水溶性食物繊維の効果」		
10月	・職員全体会議 「上半期事業報告」 「BCP研修」	・リスクマネジメント研修① 「緊急時の対応の理解」	
11月	身体拘束と高齢者虐待②	「転倒・骨折・嘔吐時の対応」	
12月	・感染症対策② 「インフルエンザ・ノロウイルス対策」	・看取りケア研修 「看取りケアの基本」 「ターミナルケアとグリーフケア」	
1月	・人権研修②		・コーチング研修 「人材育成の知識と技術」 講師：田島 利子
2月	・リスクマネジメント研修② 「窒息・誤嚥急変対応」	・BCP研修 「BCP（事業継続計画）及び災害対応」	
3月	・事例発表会		

※毎月第4（火） 17:00～20:00 介護力向上講習会 WEB 研修開催

※赤字記載の研修は基準上義務化されている研修に該当

VII. 黒潮園・クレール高森事業計画

黒潮園介護部全体計画

<基本方針>

最新のテクノロジーの活用などによる「サービスの質の向上」や「職員の負担軽減」、「業務効率化」といった生産性向上の推進に取り組みます

<重点実施項目>

(1) 職場環境の整理

- ・ 職場環境の整理によって無駄を省き、衛生的・効率的に業務が進められるよう取り組み、職員にとって働きやすい環境づくりだけでなく、提供するサービスの質向上に繋げていきます。
- ・ 業務オペレーションシートに基づき、食事提供時間の変更、入浴業務の改善、レクリエーションほか余暇時間への支援の充実に取り組みます。

(3) 「眠りスキャン」の本格活用

- ・ 夜勤の業務負担や不安、ストレスに対し、眠りの状態が確認できるセンサー「眠りスキャン」を導入することで巡視回数の削減や介護の不安や、ストレスを解消し労務負担の軽減を進めます。
- ・ ご入居者の睡眠・覚醒状況をモニター、タブレット、インカムを活用し、夜勤巡回業務を軽減し、空き時間での車椅子、デイルーム清掃、各種消毒等の業務をラインに反映し率化を図る。(関係手順書作成)
- ・ TENA アドバイザーと協働し、「眠りスキャン」を活用した夜間の排泄ケアの質向上に取り組む。
- ・ 眠りスキャンの活用、応用方法について、メーカーにサポートセミナーを依頼し、職員全員が理解し的確に活用できるようにします。

(4) ノーリフトケアへの取り組み

- ・ 居室に移動式リフト、特殊浴に固定式リフトを増設予定。抱える介助での職員への身体的負担を軽減、ご利用者の皮膚剥離、皮下出血、座り直しでの摩擦を繰り返してできるトラブルを軽減する。
- ・ 移動式リフト増設・移乗サポートロボット「Hug」の活用について、職員全員が正しい手順で行えるように実技勉強会を開催します。

(6) 生産性向上委員会の設置

- ・ オペレーションプロジェクトの名称を変更し、既存業務における「ムリ・ムダ・ムラ」の業務改善、職員が働きやすい職場環境を作ります。
- ・ ライン表の検証・修正と手順書の作成を進め、業務課題の改善活動の実践を通じて職員の働きがい・スキルを高め、質の高いケアの提供を実現します。

- ・委員会での取り組みの実績を加算取得要件に反映できるようデータ管理に取り組みます。
- ・インカムを活用により職員間の情報共有がスムーズに発信、指示できるメリットを再確認し、更なる有効活用を進めます。

令和6年度黒潮園委員会メンバー表

委員会	開催頻度	委 員
介護サービス 向上委員会	第4火曜日 介護力向上講習 会開催日	3階フロア：楠本 地蔵本 中野 山野副主任 2階フロア：角口、山口、由谷 亀井副主任 1階フロア：北 桑原 道前 滝谷 松井副主任 クレール： 看護部：原田 若井 調理部：梅村 相談部：吉田
摂食・嚥下委員会	月2回	3階フロア：小西、山口 2階フロア：小金 1階フロア：宇恵 斎藤 看護部：三浦 調理部：長尾 大橋 梅村
リハビリ委員会	第2火曜日	3階フロア：長田、富田、岩橋、瀧口 2階フロア：亀井克己 山本 1階フロア：瀧谷 原 藪下 西 看護部：小嶋 相談部：平根 調理部：大橋
行事委員会	第2水曜日	3階フロア：石田、泉、平見 2階フロア：森 菊地 佐藤 荒谷 1階フロア：西地 森沢 看護部：布袋 事務部：端地 調理部：長尾
広報委員会	第4金曜日	3階フロア：石田、山口 2階フロア：奥田 1階フロア：辻 小松 クレール：新谷 看護部：西 調理部：梅村 事務部：上地 江坂 相談部：清水
排泄委員会		3階フロア：中野 地蔵本 山野副主任 2階フロア：小金 佐藤 亀井麻紀副主任 1階フロア：松井副主任 瀧谷 辻

生産性 向上委員会	第1火曜日	3階フロア： 山野副主任 地蔵本 深瀬 2階フロア： 亀井副主任 奥田 由谷 小金 亀井克己 1階フロア： 松井副主任 森沢 瀧谷 看護部： 原田 若井 調理部： 長尾 相談部： 平根
互助会	不定期	3階フロア： 平見 濱口 2階フロア： 山本 荒谷 1階フロア： 小松 桑原 滝谷 西 看護部： 三浦 調理部： 長尾

黒潮園

介護部1Fフロア事業計画

<基本方針>

- ・ 正しく **【決められた職場のルールを守り、個人の役割を担う。職員間で相談し合える関係作り】**
- ・ 楽しく **【楽しい企画作りを実施。フロアの美化で気持ちよく働き 笑顔を引き出す】**

<実行計画>

(1) チーム力の向上

- ・ 決められた職場のルールをキッチリと守り、社会福祉事業従事者としての責任と自覚を持って行動する。
- ・ 委員会・居室担当やフロアの役割をキッチリ行う。
- ・ フロア会議・居室担当者会議・委員会活動の開催と参加。
- ・ 感染症に対しての意識向上を図る。9月、10月にフロア勉強会の実施を継続していく。

(2) 余暇活動の充実

- ・ 居担・行事委員会を中心に利用者様の希望に合わせた外出支援の実施。
- ・ 利用者様のニーズに合わせた調理レクリエーションの実施。

<重点実施項目>

(1) 業務オペレーションの実施

- ・ 業務オペレーションを実施し、円滑な業務運用を行っていく。

(2) 委員会活動

- ・ フロア会議・居室担当者会議・勉強会・出張への参加を通じて、フロア活動における個人の役割をしっかりと担い、自己研鑽に励む。

(3) ICT の活用

- ・ 介助場面に応じた ICT の導入を検討していく。(排泄は Hug、移乗はリフト等)
- ・ 部署内、施設内での円滑な活用につながるよう業務標準を定めるなど運用の仕組みづくりを進める。

黒潮園

介護部 2F フロア事業計画

<基本方針>

- ・ 楽しみの持てる余暇活動やイベントの実践
- ・ 入居者様、職員共に心地よく過ごせる環境の整備

<実行計画>

(1) レクリエーションの充実

- ・ 毎月のイベント開催 外出や誕生日企画 出前や外注企画の実施など、ご利用者が笑顔で過ごせる暮らしの充実に取り組む。

(2) 過ごしやすい環境整備

- ・ 食事を楽しむ、季節を感じることができる、ご利用者が安心できる環境づくり（交流の場 食席の配慮など）を進める。

<重点実施項目>

(1) 専門的役割と支援内容

- ・ 基本ケアの理論に基づいた実践内容を職員間でしっかり共有し実践できるようアプリや現場での周知を行う。
- ・ 介護サービス向上、摂食嚥下、排泄、リハビリ各委員会における取り組みの周知と実践。

(2) 接遇力の向上とチームケアの実践

- ・ 理念にある尊厳を守るケアとは何かという視点から課題を上げ改善に取り組む。
- ・ お互いのフィードバックなど居担会議で振り返りを行う。

(3) ICT を活用した業務の実施

- ・ 業務プロジェクト用ライン表とノーリフトケア活用により効率的かつ身体介助の軽減。
- ・ 眠りスキャン導入による夜勤業務の巡回軽減と業務の見直し。
- ・ リフト、Hug 等の使用によるご利用者の皮膚剥離、皮下出血等の回避。

介護部3Fフロア事業計画

<基本方針>

1. 初心に戻り基本ケア（水分、食事、排泄、運動）をもう一度取り組む
2. 個々の役割、責任を持ってチームケアを目指す
3. ご利用者、職員の「やりたい」が実現できる余暇活動時間を確保する

<実行計画>

(1) 基本ケアの実践に向けた体制づくり

- ・居室担当、委員会の役割と責任を明確にし、現場主導でカンファレンス、アセスメントを作成し実行する。
- ・下剤の見直し、排便リズムのコントロールにより、排泄ケアに要する時間の削減と、ご利用者の余暇活動の充実に繋げる。
- ・歩行ケアに取り組む体制の再考と実施による ADL 維持・改善に取り組む。

(2) チームケアを実践する体制づくり

- ・居室担当リーダー、居室担当、委員会メンバーが専門的な知識と役割を持ち、課題を居室担当会議で議論し決定する。
- ・職員の想いを実践できるチームづくりに取り組む。

(3) 余暇活動時間の充実

- ・オペレーションシートを活用し、業務のムリ・ムダ・ムラを省き、余暇時間を確保する。
- ・個別ニーズに応える外出支援に取り組む。

黒潮園行事計画

黒潮園の基本方針にある『豊かな日々の暮らしの実現』への取り組みとして今年度は行事企画の充実に力を入れて行きます。生産性向上委員会の取り組みを通じて余暇活動支援の時間を効率的に活用できるよう取り組みます。

	行事計画
4月	・花見（松山公園） 黒潮公園つつじドライブ いちご狩り
5月	《春の外出企画》 獅子岩ドライブ・亀公園・勝浦足湯・太地くじら博物館・那智の滝・串本橋杭岩ほか ・ホエールウォッチング
6月	・あじさい花見ドライブ
7月	<開園記念祝賀会> ・夏祭り ・七夕企画
8月	・花火企画 ・映画上映会
9月	・敬老会・カラオケ大会 ・三輪崎神楽奉納（鯨踊り）
10月	・黒潮横丁（屋外食事会） 《秋の外出企画》ご利用者の希望を叶える外出
11月	・運動会
12月	・クリスマス会 ・忘年会・餅つき大会
1月	<新年会> ・お正月イベント（獅子舞・カルタ大会） ・初詣
2月	・節分行事
3月	・ひな祭り

○お誕生会 毎月1回 ○音楽療法 週2回

クレール高森事業計画

<基本方針>

- ・チーム力を持って実践する個別ケア

- (1) LIFE 加算と個別ケアの連動
- (2) 5S 活動（生産性向上の取り組み）
- (3) 職員版 24 時間シート更新体制づくり
- (4) 個別ケアの実践
- (5) 各委員会活動の取り組みと実践
- (6) 感染予防対策の取り組み

<実行計画>

(1) LIFE 加算と個別ケアの連動

- ・LIFE のフィードバックデータをもとに、自分達が日々取り組んでいる個別ケアを見直し、評価し、個々の支援計画作成ができる体制基盤づくりを実施します。

(2) 5S 活動（生産性向上の取り組み）

- ・業務改善課題を共有し、直接ケア、間接ケアの両面で、ムリ、ムダ、ムラを省き、効率、生産性向上につながる取り組みを実施し、職員が働きやすい環境をつくる事で、質の高いサービスを提供します。

(3) 職員版 24 時間シートの更新体制づくり

- ・日中に必要な勤務帯（早番、日勤、遅番）の基本職員配置で業務ケアの流れを時間軸に沿って職員版 24 時間シートに組みこみ、オペレーションシートとして作成します。
- ・職員版 24 時間シートの基本配置数以上の人員配置となった際に遂行可能な業務、カンファ、レク、24 時間シート変更、施設内勉強会、委員会等を実施していきます。
- ・職員版 24 時間シートの更新変更をフローア一会議で月 1 回見直し確認します。

(4) 個別ケアの実践

- ・ユニットケア施設として、ユニットケア研修に参加し、ユニットケアの理念を学習し、個別ケアの充実を目指します。
- ・自立支援介護の研修を受け、知識、実践技術を身につけ自立支援の視点をベースとした個別ケアの充実を目指し、専門性に特化したサービスを提供します。
- ・多職種連携のカンファレンスを実施し、個別ケアの充実を目指します。

(5) 各委員会の充実を目指す

- ・各委員会活動の実践を LIFE 加算の評価、見直し、支援計画に活かします。
- ・開催日を固定化し、委員長を中心に、定期的に委員会を開催します。
- ・各委員会メンバーは委員会活動の目的を理解し、計画的に活動します。

(6) 感染予防対策の取り組み

- ・コロナ、インフルノロと各感染が出た際に適切に対応できるよう研修を実施します。
- ・コロナ・インフル対応の際のゾーニング対応を現場職員が適切に行えるよう研修を行います。

委員会	担当職員	活動計画
行事委員会 第1火曜日	委員長：西 向井 池永 松實 和中相 談員 宮上 ユニット職員	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度同様に季節にちなんだ行事の実施を継続。 ・個々の入居者様や利用者様の声（食べたい物、やりたい事、）を大切にした支援の企画 ・入居者様の思いを大切にしたユニットごとの企画
広報委員会 第3火曜日	委員長：北郡 新谷ケアマネ 加茂 泉 新 倉本 (黒潮園広報委員) 新谷ケアマネ	<ul style="list-style-type: none"> ・月1の行事や、レクリエーション活動の写真を残し、ご家族様への配布を行い、地域やご家族様にクレールでの取り組みをお伝えしていく。 ・各入居者様の写真を各ユニットの居室担当で管理保管していく。
リハビリ委員会月 1回 第2週	委員長：鳥居 木和田 中村 下地 宮上 ユニット職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ポジショニング、シーティングへの取り組み、ラウンドを通して基本的な考え方をチームで共有しながら褥瘡予防、姿勢保持への取り組みを行う。褥瘡予防の取り組みと LIFE 加算の評価見直しを行います。
介護力向上委員会	委員長 北郡 小西 泉 若井看護師 ユニット職員	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援介護 WEB セミナーに参加し、自立支援介護実践の知識、技術を学び、個別ケアで実践していく。
排泄委員会 月1回 第4週	委員長：木和田 東口 岩佐 三栖 宮上 ユニット職員	<ul style="list-style-type: none"> ・自然排便の取り組み、排泄動作の自立支援を目指します。LIFE 加算の評価、見直しを行い、適切な排泄支援を実施します。
5S活動委員会 月1回	委員長：宮上 東口 上安 向井 福田 北郡 小西 西枝 和中	<ul style="list-style-type: none"> ・間接業務、直接業務の中で、無理、無駄、ムラを省き効率化、生産性を考え、職員が働きやすい環境をつくる事で、個別ケアの充実。質の高いサービスを目指す。
摂食嚥下委員会	東口 鳥居 木和田 宮上	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回、管理栄養士、歯科衛生士、相談員、ケアマネ、看護師を含む他職種と入居者様の食事状態を把握し、ご本人様にとって安全安心できる食事支援を目指す。

<各ユニット事業計画>

【1階北ユニット】

ロングショートご利用者の本入居に向けて暮らしの支援。自立支援の取り組み。

ご家族に向けて、ショートでの様子を情報提供する連絡ノートの有効活用の取り組み。

【1階南ユニット】

「チームカアアップ」LIFEのフィードバックやカンファレンスを通して、チームメンバー全員が意見を出しあい、主体的に考え実行出来るユニットを目指します。

【2階北ユニット】

ユニットミーティングにて24時間シートの支援内容を更新し、スマートに支援を行う事でご入居者との関わりの時間を増やしサービスの質を高めます。

【2階南ユニット】

「チーム力を上げる」限られた業務時間の中、人員不足であっても充実したサービスを提供できるよう、各個人が考え実施し、日々の報連相・グループラインを活用し共有していく。

接遇に関して、日々の関わり方や言葉遣い等、どの職員であってもお互いに注意、声掛け出来る関係を築きチームとして成長できる事を目標とします。

相談援助部事業計画

<基本方針>

キーワード：「共創する」

- ・ご利用者、ご家族、職員の皆様と対話をしながら、価値を「共」に「創」りあげていく
- ・価値とは、誠実、謙虚、尊敬を大切にすること
- ・社会福祉法人として地域の拠点となり、地域福祉の向上とした「地域貢献」を行う
- ・介護保険事業者間の連携・情報共有を行う

<重点実施項目>

法人運営方針を理解し、相談援助部としての責務と質の向上を図る。

(1) 目標稼働率100%を目指す(クレール99%)

- ・社会資源として地域に活用され、必要な方に利用され続ける施設を目指し、入退所を円滑に調整する。
- ・ご入居者が入院した場合、医療機関の医療介護連携室との情報交換や退院時カンファレンスへの参加等による退院調整など、医療・介護連携に努める。
- ・入院時のショート空床利用、迅速な新規入所受け入れにより、効率的な空床管理を行う。

(2) 身体拘束セミナーの実施

- ・身体的拘束等の適正化のための研修を定期的実施する。

(3) フロアー担当制によるチームケア体制の構築とソーシャルワークの充実。

- ・黒潮園では相談員・ケアマネのフロアー担当制を導入し、各担当フロアー会議に参加し、ご利用者の状況把握や多職種間の連携、ご家族への連絡など、現場職員とより連携が取れる体制とする。
- ・介護現場と連携し、ご家族との信頼関係を深める。(ご家族・介護職員と一緒に外出支援の企画を行う。)
- ・ソーシャルワークの専門職としての知識向上を図る。

(身体拘束セミナー、担当制による介護福祉士受験対策の勉強会、新宮市役所から生活保護の外部研修会)

- ・ご入居者及びご家族の意向に添った終末期ケアへの取り組みとして、看取り期のご家族へ向けた支援と精神的サポートを行うため「看取りガイドライン」を活用しながら、主治医・看護部・多職種と連携し、ご家族への意向確認と情報提供を行い、看取り介護に取り組む。

(4) ご入居者・ご家族の意向や嗜好を暮らしに反映させたケアプランの作成

【黒潮園】

- ・生活相談員と介護支援専門員が、各担当フロアー入居者のケアプランを作成する。
- ・フロアー職員の居室担当制により、モニタリング評価表の内容を反映し、定期的にケアカンファレンスを開催。ご入居者の状態や暮らしの希望などの情報を収集し、ケアプラン作成に活かしていく。

【クレール高森】

- ・入居時に、「私の暮らし」を活用した暮らしの意向を多職種で共有していく。これまでに入居された方についても、自立支援型短期目標から自律支援型短期目標（私らしく暮らしたい、私らしく元気に過ごしたい）に移行して「その人らしさ」を少しでも実現する。
- ・個別のカンファレンス開催を引き続き行う。現場、多職種共同にその方の暮らしを支援していく意識を認識し、多職種連携でケアプラン・24Hシートの作成に活かしていく。
- ・ケアプラン更新時にカンファレンスで決定した24Hシートをケアプランに添付しご家族に説明同意いただく。

(5) 地域への情報発信と連携

- ・社会福祉法人として、住み慣れた地域で安心できる暮らしを施設が支えることで「地域に安心を提供」し「地域貢献」を行う。「市民公開講座」の企画。
- ・急なショート利用希望にお応えできるよう、緊急ショートの受け入れに取り組み、地域事業所との連携を深める。
- ・新宮市介護保険事業者連絡協議会の施設部会として、介護保険事業者間の連携・情報共有を行う。

看護部事業計画

<基本方針>

- ・ご入居者の健康状態の把握と健康保持に努める

<重点実施項目>

(1) 健康状態の把握と健康保持への援助

- ・ご入所者の情報を把握・異常の早期発見が出来るように心がける。異常があれば適切に対処し、必要に応じて受診につなげる。
- ・ご入居者の状態に変化を認めた際は、医師へ報告し、指示を受ける。介護職員には日常生活の制限など必要な指示を伝える（入浴・安静度・食事）。
- ・毎日の巡回の中で、ご入居者の声に耳を傾け、身体・精神・心理的状态を把握しながら必要に応じて診察、または他職種への報告・周知を図り、統一した視点で連携を図る。
- ・各人がアセスメントスキルの向上に努める。

(2) 新規入居者の疾病と健康状態の把握

- ・入居時の診療情報書・看護サマリー・リハビリ経過報告書・感染症の有無等を確認、また、身体・精神・心理的状态や皮膚状態を把握する。
- ・入居後、経過を追いながら、バイタル状況、認知症の有無と程度、ADLの状態・排泄状況・食事状況・精神状態等を十分に把握し、個々に合わせた健康面の援助を行う。

(3) 入居者の定期健康診断の実施

- ・ご入居者の健康管理として、年に1度は健康診断を行う。
- ・血液検査については、経過に応じて随時実施する。

(4) 他職種連携とのチームケアの実践

※栄養状態の把握

- ・管理栄養士・医師・介護職員と連携を図り、個々の栄養状態の改善、また、経口維持や改善に努める。

※自然排便への取り組み

- ・他職種との連携で、個々の排便状況、食事、水分等の観察・記録のアセスメントを行い、自然排便への援助を行う。

※褥瘡ゼロへの取り組み

- ・褥瘡対策委員会を実施し、褥瘡防止、褥瘡治療を作らないケアに取り組む。

※フットケアへの取り組み

- ・自立歩行への支援を目的にフットケアを行う。

※看取りケアへの取り組み

- ・ 尊厳ある最期を迎えることが出来るようご本人及びご家族へのケアを行う。
- ・ 看取りのカンファレンスの実施。

※服薬について

- ・ 嘱託医に内服薬の見直しを依頼し整理する。
- ・ 服薬チェック表を作成し、内服薬の管理を徹底する。

(5) 病院受診、ご家族への説明

- ・ 相談援助部との連携を行い、病院受診、およびご家族への報告等を円滑に行う。

(6) 感染症対策

- ・ 地域での感染症の流行状態の把握に努める。
- ・ 通常の感染症の勉強会を開催、必要時には感染症の対策を行う。

(7) クレールでの看護業務の立案

- ・ クレールでの業務及び内服薬管理の見直しを図り、スムーズな業務が実践できるように努める。
- ・ 配薬ボックス『配やっくん』を活用し誤薬防止に取り組む。

(8) 書類・カルテの整理見直しと記録システムの活用

- ・ 記録システム「ほのぼのNEXT」を活用し、内服・創傷・褥瘡のケア記録を行う。
- ・ カルテを整理し、必要な情報をまとめたファイルを作成する。
- ・ 看護申し送りのペーパーレス化の実施。

(9) 看護部の意識改革

- ・ フロア制を導入する事により、細かな観察及びケアの実践。
- ・ フロア会議に参加する事により、介護職員との情報の共有を図る。
- ・ 言葉遣い及び業務態度の見直し、他職種と連携しチームワークを継続し実践する。

調理部事業計画

<基本方針>

- ・安全安心な食事を継続的に提供します。
- ・栄養ケアマネジメントをご利用者全員に実施します
- ・働きやすく、安心・安全な職場作りを常に推進します。

<実行計画>

(1) 安全な食事の提供

- ・衛生管理の徹底
- ・感染症パンデミックへの備え
- ・自然災害への備え

(2) 口腔、栄養が一体となった栄養マネジメントの実施と強化

- ・定例カンファ、摂食嚥下委員会を活用し、個別支援の摂食嚥下、栄養マネジメントの実施
- ・口腔、栄養に関する加算算定（経口維持・栄養強化・口腔衛生）の実施

(3) 安心・安全・快適な職場環境作り

- ・ワークライフバランスを充実させ、人材が定着、活躍できる職場を目指します。
- ・業務改善を心がけ、安心・安全・効率的な業務運営を目指します。

<重点実施項目>

(1) 自然災害への備え

- ・非常用備蓄食および調理物品・調理環境整備の強化
- ・施設職員の防災意識の普及、向上を目指した炊き出し訓練実施

(2) 口腔、栄養の取り組みの継続的な実施

- ・経口維持加算、口腔衛生加算、LIFE など 加算算定への積極的な取り組み
- ・施設内、施設外への情報発信

(3) ワークライフバランスのとれる職場作り

- ・産休育休取得に対応できる職場作り

VIII. デイサービスセンター悠久事業計画

<基本方針>

- ・ 住み慣れた家でその人らしい暮らしがいつまでも継続できることを実現する
- ・ 余暇活動の充実で、笑顔あふれる刺激的なデイサービスを目指します

<実行計画>

(1) その人らしい在宅生活の維持の実現

- ・ 中重度高齢者や認知症高齢者の在宅支援・ご家族支援に取り組む。
- ・ 延長時間対応や夕食の提供など、あらゆるニーズにお応えするサービスの提供に務める。
- ・ 日常生活動作の機能訓練に取り組み、身体機能向上で在宅生活の継続に努める。
- ・ 認知症の進行の緩和に取り組む、住み慣れた家でその人の暮らしの継続に努める。
- ・ ご家族様や介護支援専門員、他職種他事業とも連携した質の高いサービス提供に努める。

(2) より充実した余暇活動やサービスの提供の実践

- ・ 機能訓練、レクリエーションの知識及び技能やご利用者にもたらす効果等を理解し、一人一人に合わせた機能訓練、レクリエーションの提供を行い、余暇支援の充実につなげる。
- ・ リハビリメニューを充実させ、バランス感覚の維持や血流の正常化、下半身関節の強化などの機能回復でADLの維持向上や転倒しない体作りにつなげる。
- ・ 季節を感じるドライブや行事などに積極的に取り組む。

(3) 充実した人材育成や働きやすい環境作り

- ・ ケアマニュアルと業務マニュアルの作成と新人研修プログラムを構築し、チャレンジ制度におけるキャリアパスを作成する。
- ・ 悠久独自の勉強会を行い介護技術の研鑽に努め、ご利用者様の尊厳を大切にするケアを行う。
- ・ 職員間のコミュニケーションと休みの取りやすい働きやすい職場作りに努める。
- ・ 悠久の様子や行事、改修工事に向けての計画をInstagramにて全国に発信する。

(4) 10年20年先を考えたデイ作りに向けて再スタートする

- ・ ITを使った荷物管理健康管理ほか業務効率化における情報収集を行いアイデアを生み出す。
- ・ 機能訓練に特化したプログラムと、機能訓練型、レスパイト型の業務の組み方を構築する。
- ・ 保険外サービスの導入など、他にない新たなデイサービスの形を創造する。
- ・ CareTEX や福祉用具展示会に参加し、人手に頼らずレクリエーションのクオリティや安全性を保ちながらレクリエーションを提供する仕組み作りに取り組む。

< 悠久重点実施項目 >

1. 日々の業務を簡素化 AIやITを便利に使おう

姿勢分析から転倒しない体作りと腰痛にならない体作りへ



複雑な送迎をボタン1つで
順番からルートまで計画



情報収集して使えるAIやITの活用を広げよう

2. ずっと働いていけるよう腰痛のリスクをなくす



必要な介助量により移乗器具の選択



色々な介護ロボットの情報を集め

使える場面や安全性を理解して

安全安心を大切に使い続けられるようになる。

腰痛を引き起こすリスク 抱える 持ち上げる をなくそう

<悠久委員会活動>

(1) 目的

地域への情報発信や事業計画を円滑に遂行するため、悠久職員で構成する各委員会を設立する。

(2) 運営方針

1. 職員が各委員会に所属し、委員長を決め運営する。
2. 委員会活動報告を月1回行う。
3. 行事、広報委員会は法人全体委員会の招集時には悠久の代表として参加する。

委員会	活動内容	担当職員
技術向上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自施設の介護技術や接遇力の向上への取り組み ・ ご利用者にあった介助方法や自助具等の模索 	溝奥 石原 横浜
行事委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事企画、行事記録の作成 ・ イベント用物品の管理 ・ 法人委員会への参加 	畑中 廣野 森浦
広報委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページや広報誌の更新や充実 ・ 写真の整理や配布 ・ 法人委員会への参加 	林 片山 倉本
美化衛生委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全かつ快適な職場環境作りに取り組む ・ 施設内の清掃や整理整頓の点検 	井上 福島
車両管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車両の安全点検や管理 ・ 車イス等の修理改善 	丸谷 中尾

<p>物品管理委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 備品や在庫の管理 ・ 低コストへの品質改善等 	<p>横山 野中</p>
<p>オペレーションシート作成委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務マニュアル介護マニュアルの作成更新 ・ 業務のムダ改善等 	<p>倉本 全職員</p>

デイサービスセンター悠久行事計画

<新しい行事の企画を行い、年間行事のさらなる内容の充実に取り組む>

< 毎月の行事企画 >

- 押し花教室 月1回
- 音楽療法 第1・第3金曜日
- おやつ作り 毎月企画

※コロナウイルス感染者数の状況を見ながら取り決め（場合によりオンラインで行う）

悠久年間行事予定			
4月	※お花見ドライブ ※つつじドライブ 工作教室	10月	悠久スポーツ大会 ハッピーハロウィン ※屋外昼食会
5月	※新緑ドライブ ※屋外昼食会	11月	※秋のドライブ 介護の日イベント
6月	※紫陽花ドライブ	12月	忘年会 メリークリスマス 餅つき大会
7月	七夕まつり 工作教室	1月	新年会・マグロ・獅子舞 初詣ドライブ 工作教室
8月	工作教室 悠久盆踊り	2月	節分会 工作教室
9月	敬老会 工作教室	3月	ひな祭り 工作教室 ※木蓮ドライブ

上記以外に慰問予定

IX. 在宅介護支援センター悠久事業計画

(居宅介護支援事業)

<基本方針>

- (1) 介護支援専門員、介護福祉士という専門性を生かし対象者に対してより適切なアセスメントと援助を行っていく。
- (2) 各職員が同一の対象者に関する情報を常時共有するよう努力する。
- (3) 黒潮園、クレール高森、デイサービスセンター悠久の併施設設職員との情報交換、連携を強化する。
- (4) 行政を始めとする諸関係機関、団体等との一層有効な連携に努める。

<実行計画>

- (1) 在宅介護に関する総合相談
- (2) 保険、医療サービスの情報提供とその積極的利用の為の啓発
- (3) 保険外サービスの申請代行、利用の連絡調整
- (4) 福祉用具の紹介、具体的使用方法の相談、助言
- (5) 住宅改修についての助言
- (6) 訪問等による在宅介護の方法の相談、助言
- (7) 在宅介護者の緊急的不在時の対応
- (8) 相談協力員との情報交換等連絡調整
- (9) 住み慣れた地域での生活が継続できるよう、身近な生活圏域ごとにサービスの拠点をつくり支援する
- (10) 働きやすい職場づくりの一貫として、職員からの介護相談を受け付け、その支援を行う
- (11) 悠久改修工事に向けて、ご本人様やご家族様の希望やニーズの助言を行い、新しい悠久の創造に協力し、在宅介護の相談がしやすい環境を作っていく。
- (12) 自立支援に向けたケアプランの作成に努める。